

令和6年度 第1回学校評議員会記録

滑川市立寺家小学校

7月2日(火) 16:00~17:00 校長室

[参加者] 松井教育振興会会長 山西富山大学名誉教授 水井東地区公民館館長
桶川育友会役員 砂子読書ボランティア
村杉校長 此川教頭 小川教務

- 1 委嘱状交付
- 2 学校長あいさつ
- 3 本校の取組について
 - ・今年度の取組について
教育目標の具現化を図る全体構想、年間行事予定及び1学期の動向、
ネブタ流し関連、アクションプラン 等
- 4 懇談 (以下の「・」は、学校からの話題 「○」は、評議員の方々の意見等)

タブレット活用について

- タブレットの容量の空きが少ない。そのため、連絡帳がすぐに見られないことがある。
- ・市が新しい端末を導入する予定があり、どの機種が使いやすいのか検討していきたい。

総合的な学習の時間の取組について

- 探究的な学びや協働的な学びについて、計画的に取り組む必要がある。
- 総合的な学習の時間で学ぶことで、何の役に立つのか目的意識をもつことが大切。また、何が伸びたのか振り返ることも大切。

アクションプランの取組について

- それぞれの取組の目的を明確にするとよい。例えば、タイピングの力を高めることで、その力をどのようなことに活用できるのか考えて取り組むことが大切。

台湾交流について

- ・今年度も秋頃に実施予定。
- 交流を通して、海外の学校の状況を知ることが、児童にとってよい刺激になる。

教員の働き方改革について

- 何が時間をとることになっているのか考えて取り組むことが大切。
- ・必要だと思うことに注力していきたい。

チーム学校としての取組について

- ・本校は単級の学年がある。そのため、複数の学年で連携して普通の授業や学校行事等に取り組むことを目指している。例えば、合同朝の会を3つの学年ごとに実施している。

あいさつについて

- 学校内だけでなく、地域のあいさつがもっと広がるとよい。交差点で地域の人が交通整理をしていることが分かると、児童が心配なくあいさつしてくれる。